

クルマ好きを育むイベント「東京モーターフェス2018」 来場促進支援などについて審議

会員サイト「クルマbiz」やHPの運用についても提案

第2回 特別委員会開催

マイクを持って挨拶する和辻委員長、和辻委員長の左が鈴木室長

日 本自動車会議所は9月11日、東京・港区の日本自動車会館「くるまプラザ」会議室で、平成30年度第2回特別委員会（委員長＝和辻健二・日本自動車工業会常務理事）を開催し、10月に開催される「東京モーターフェス2018」の来場促進支援や当会議所のホームページ（HP）に関する活用の進捗状況について審議を行った。

委員会は和辻委員長の挨拶により開会され、次の議題に沿って審議が進められた。

1. 東京モーターフェスの支援活動

今年10月6日から8日に開催の『東京モーターフェス2018』（以下、TMF2018）の効果的な情報発信と来場促進について、自工会モーターショー室の鈴木庸弘室長より以下の通り説明を受けた。

■鈴木室長説明

昨年の東京モーターショーでは、動員で協力いただき誠にありがとうございました。前回のTMFまでは実行委員会方式で開催し、自工会は共催となっていました。今回のTMF2018は自工会が主催者となります。参加メーカーは自工会14社、海外の車両・バイクメーカーが出展、展示・試乗車両台数は269台となり、前回の180台から大幅に増加しました。

平成最後の開催となるため、この時代を代表する

往年の名車をはじめ、最新のクルマ・バイク・商用車の展示・試乗体験やデモ走行を行います。さらに、e-スポーツや「痛車」（カスタムカー）の展示、キッズ向け・女性向けプログラムなど数多くのコンテンツを用意しています。

開催場所は東京臨海副都心周辺の特設会場から、シンボルプロムナード公園、MEGAWEBまでとして、前回より会場を2倍近く拡充して開催し、クルマ・バイクファンの拡大を目指します。

特別委員会を中心に、団体HPにTMFリンクバナーの掲載を23団体で検討いただいておりますので、自工会よりバナーデータをお送りします。9月20日の自工会定例記者会見で詳細が発表されますので、各団体のHP・広報誌での案内をお願いいたします。＝9ページのパナーと表を参照＝

TMF2018は、来年開催する『第46回東京モーターショー2019』につながるイベントにするため、小さな子どもでも楽しめる体験プログラムを盛りだくさんに用意しており、皆さまもご家族で是非来場いただきたいと思います。

説明の後、審議に移り、開催日まで20日余りと短いため、各団体による情報発信方法は団体ごとに個別に判断して対応することとし、各団体より会員に

対してTMF会場への来場を積極的に呼びかけていくことが承認された。

2. 会員サイト「クルマbiz」の運用

■事務局説明

6月開催の第1回委員会で会議所と会員間の情報共有を迅速に進めるため、新たに会議所HP中に会員サイト「クルマbiz」を立ち上げることが承認され、本第2回委員会の開催案内からトライアル運用を開始した。

8月、会議所HPに「クルマbiz」のログインバナーを新設、事前に各委員へIDとパスワードをお知らせして第2回特別委員会開催案内と出欠確認を実施した。その結果、従来のFAX案内と比較して、出欠確認の期間を大幅に短縮することができた。

また、クルマbizのアンケート機能については、全国自動車会議所(21団体)が全国の主要駅や道の駅などの掲示板に掲出する「エコドライブポスター」を改定するため、クルマbizを活用し、画像を添付したポスター5案から選考を行った。会議所はこれらの事例を通じて、さらにクルマbizのメリットや課題などを検証していく。また、各団体からクルマbizを利用したアンケートの要請があれば、連携を検討していく。

以上の事務局説明について、委員より了承された。

3. 「クルマの情報館」のアクセス数

■事務局説明

会議所HPを昨年8月に改訂し、新設した「クルマの情報館」の中で、官公庁の施策、イベントなどの行事、団体の人事、自動車産業の社会貢献活動などの情報を掲載してきた。掲載情報は1年間で1,700件にのぼり、アクセス数も、掲載件数が1,000



当会議所HPのバナーデザイン

「東京モーターフェス2018」バナー掲載団体

1	日本自動車部品工業会
2	日本自動車車体工業会
3	日本自動車タイヤ協会
4	全国軽自動車協会連合会
5	日本中古自動車販売協会連合会
6	日本自動車整備振興会連合会
7	日本バス協会
8	関東陸運振興センター
9	日本自動車車体整備協同組合連合会
10	日本二輪車普及安全協会
11	日本自動車機械器具工業会
12	日本自動車用品・部品アフターマーケット振興会
13	日本自動車査定協会
14	日本自動車教育振興財団
15	秋田県全自動車協会
16	宮城県自動車会議所
17	福島県自動車会議所
18	神奈川県自動車会議所
19	静岡県自動車会議所
20	愛知県自動車会議所
21	岐阜県自動車会議所
22	富山県自動車会議所
23	日本自動車会議所

件を超えた4月以降、継続して1万件超を達成している。同様に、サイト内で見られたページ数も2万2,000件を超えている。アクセス数が1万件を超えた5月から8月までタイトル別アクセス数(月別)を調査した結果、トップ50の半数近くの22タイトルが毎月ランクインしていた。

4カ月間1位をキープしていたのは、4月9日に掲載した「原付二種免許、最短2日で警察庁が規制緩和」は、8月のアクセス数が1,335件だった。2位は2月16日掲載「警察庁、昨年の交通事故 自動ブレーキ普及で追突事故が目立って減少」、3位は5月17日掲載「第53回交通安全子供自転車全国大会を8月8日に開催」、4位は2月22日掲載「自動ブレーキ普及加速、昨年の装着率9割前後」、5位は4月26日掲載「整備専門工場、エーミング作業は課題」と続いている。

最後に、事務局より、今後もクルマに関心を持つ若者が知りたい情報を提供していくため、当会議所に対して各団体・支部・地域のイベントや行事などに関する情報提供の要請があり、あわせて委員より承認され、委員会は終了となった。